

令和7年10月30日
国立大学法人筑波大学

学食メニューのCO₂排出量の見える化プロジェクト 第3弾 学生と考える「ラーメン一杯を作って食べるまでのCO₂排出量はどれくらい？」 ～見て・食べて・参加して、ライフスタイルと地球環境を考える機会に～

筑波大学では、令和7年11月17日(月)～12月19日(金)に、「学食メニューのCO₂見える化プロジェクト」を実施します。本プロジェクトでは、学食で提供される各メニューのカーボンフットプリント(CFP)を表示することで、地球温暖化への負荷を見える化し、学食利用者が「食の選択」を通じて、環境に配慮したライフスタイルを考え、行動に移すきっかけとなることをねらいとしています。

本プロジェクトの背景に、私たちの食べ物は、原材料の調達、製造から廃棄に至る過程で多くのCO₂を排出していますが、その事実はあまり知られていないことがあげられます。3回目の開催となる今回は、去年は専門家に依頼した、食事が提供されるまでのCFPの計算の段階から有志の学生たちが学習・実践し、その表示にも工夫を凝らします。さらに、見た目を楽しめて、簡単に参加できる仕掛けなども企画することで、学食利用者の興味と参加意欲のさらなる向上を図ります。本プロジェクト実施による効果は、アンケート調査や取組み前後の廃棄物量の変化量などから科学的に分析します。

【第3弾の実施概要】

実施期間： 令和7年11月17日(月)～12月19日(金)
場所： 1A棟食堂、3A棟食堂(つくば市天王台1-1-1)
主催： 筑波大学DESIGN THE FUTURE機構(DTF機構)
協力： シダックスコントラクトフードサービス株式会社
一般社団法人サステナブル経営推進機構(SuMPO)

📍 1学食堂、3学食堂

2025
CO₂見える化
プロジェクト

11月17日(月)～12月19日(金)

【特徴】

- ・有志学生たちが各メニューのCFPを計算から実践した
- ・同学生たちが食堂内に見て楽しめる展示や、新しく参加型の小企画も実施する
- ・本イベント前後における学食からの廃棄物量を分析し、イベントの効果を検証

(参考)

★ 学生たちの取組みをご覧になりませんか

実施期間: 令和7年11月19日(水) 12時30分～13時30分

場 所: 1A棟食堂

ご希望の方は、11月14日(金)までに、ご所属、お名前、参加人数を

kohositu@un.tsukuba.ac.jp 担当:真野 まで

「学食CFP取材申し込み」というタイトルでメールにてお申込みください。

プロジェクト紹介ポスター



1学食堂、3学食堂

2025 CO₂見える化プロジェクト

11月17日(月)～12月19日(金)

ラーメン一杯をつくるのに
CO₂はどれくらい排出されるんだろう

CO₂排出量 少 ← → 多

私たちの生活に身近な学食メニューの環境負荷を
“カーボンフットプリント (CFP)”の形で「見える化」してみました。

カーボンフットプリント (CFP) とは、
製品やサービスの原材料調達から廃棄・リサイクルのライフサイクル全体を通して
排出される温室効果ガスをCO₂に換算して、環境負荷を表示する仕組みです。
(一般社団法人サステナブル経営推進機構 (SuMPO) HPより)

学食の机にある三角POPの
QRコードから
アンケート回答で
AmazonGift 500円
抽選で当たる!

DESIGN THE FUTURE機構

参加型投票企画



\\ 来週 !! //

2025 CO₂見える化プロジェクト

11月17日(月)～12月19日(金)

1学食堂、3学食堂

ビーフカレー1杯分と筑波大学循環バス1周
CO₂排出量が多いのはどっち?

多いと思う方にシールを貼ってね!

ビーフカレー

循環バス1周

答えはプロジェクト期間中の三角ポップを見てね!

DESIGN THE FUTURE機構

★本プロジェクトは筑波大学DESIGN THE FUTURE機構(DTF機構)が主催しています。DTF機構は現在および未来社会がかかえる地球規模課題解決のために、本学のさまざまな知見や成果を戦略的に推進・発信する機関です。DTF機構では、未来を担う学生がサステナブルな社会の構築に資するさまざまな取組みを支援するプロジェクトを企画・運営しています。本プロジェクトのその一環として、学生が中心となって実施しています。

【取材申し込みについて】

筑波大学広報局

TEL: 029-853-2040

E-mail: kohositu@un.tsukuba.ac.jp

【問い合わせ先】

当プロジェクトについて

筑波大学DESIGN THE FUTURE機構

TEL: 029-853-2922

E-mail: sdgsweb@un.tsukuba.ac.jp